

# くわなスタートアップ オープンワールド 戦略



2024.3.22

# 戦略策定の背景（１） 国や各地域におけるスタートアップ施策の動向

政府や各地方公共団体において、スタートアップの創出や支援などに関する動きがある中、革新的なアイデア・技術により、今まで解決できなかった課題にアプローチを試みることで、新たな価値創造を実現するスタートアップの出現が期待されている。

## ① 日本政府の動向

現在、政府では、「スタートアップ育成5か年計画」（令和4年11月28日決定）において、スタートアップへの投資額を令和9年度に10兆円規模とするなどの目標を掲げ、スタートアップの成長を強力に後押ししている状況にある。

## ② 三重県の動向

三重県では、金融機関・高等教育機関・経済団体・支援機関等の県内外の関係機関が一体となった支援体制「みえスタートアップ支援プラットフォーム」を設立し、スタートアップ支援の取組を加速させ、三重発スタートアップを創出することを目指している。

## ③ 各自治体の動向

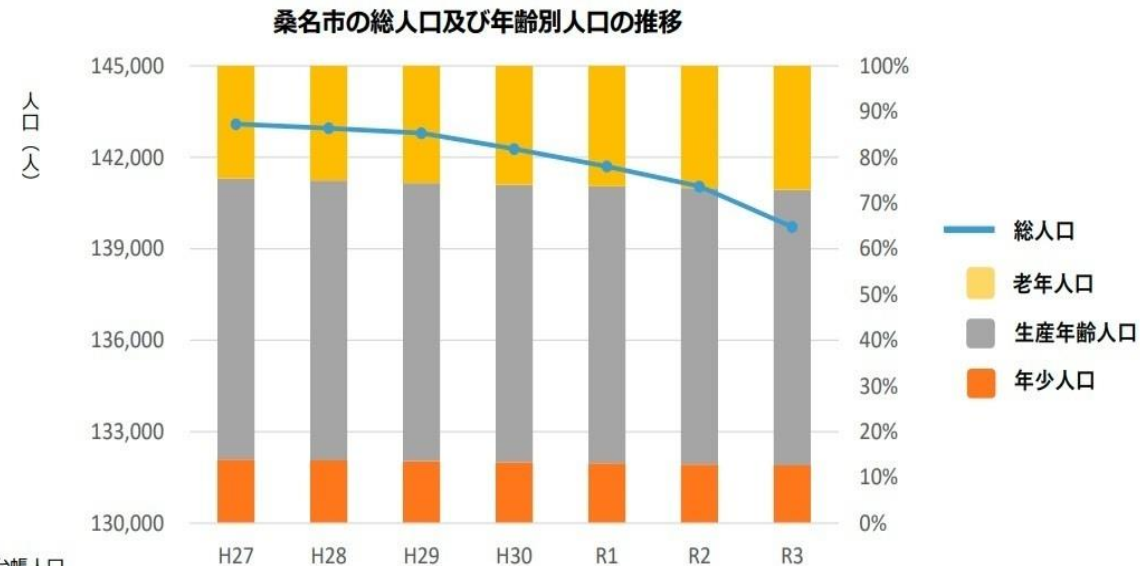
隣県の愛知県では、日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」が令和6年度に開業を予定しており、この中部地方において、スタートアップの創出・育成やオープンイノベーションが加速されていくことが見込まれる。同様に、東京都や大阪府、神戸市、福岡市など、日本各地においても、スタートアップの創出・育成が活発化している。

# 戦略策定の背景（２） 桑名市の課題とスタートアップへの期待

桑名市の課題解決のために、革新的なアイデア・技術を有するスタートアップへの期待が高まっている。

## ① 人口減少・少子高齢化

日本各地において課題となっている人口減少・少子高齢化の波は、桑名市にも押し寄せている。令和4年2月には、桑名市の総人口は14万人を下回り、年齢別人口は、少子高齢化の進行に伴い、年少人口・生産年齢人口が減少し続けているのに対し、老年人口は増加し続けている（右表）。



## ② 今後の経済成長のための新たな一手へ

人口減少・少子高齢化に起因する労働の担い手不足・後継者不足による、経済成長の抑制をはじめとした課題が懸念される中、従来の手法にとらわれず、迅速に対応していくことが求められる。

革新的なアイデア・技術を有するスタートアップは、これらの課題解決を期待できる存在である。

# 戦略策定の背景（3） 桑名市におけるスタートアップとの共創可能性

スタートアップに特化した仕組みを設けることで、桑名市の強みをさらに発展させ、新たな価値創造をスタートアップとの共創により実現することが、桑名市の未来を形づくる有効な手段となる。

## ① 桑名市がこれまで進めてきた取組 ～公民連携スキーム～

桑名市では、課題の解決を目指し、民間事業者等と行政がお互いの知恵とノウハウを結集して新たな解決方法、新たな価値を創出する公民連携ワンストップ対話窓口「コラボ・ラボ桑名」の設置や、様々な人々とのオープンでフラットな話し合いや課題解決を実行していく場を提供し、新たな共創を創出することを理念とした「桑名オープンフィールド構想」を掲げ、民間事業者等との新たな共創の創出を積極的に目指している。

## ② 桑名市の優位性

桑名市は、古くは東海道の宿場町、交通の要衝として栄え、伝統的に産業が盛んな地域。また、観光資源にも恵まれており、東海地方でも屈指の観光都市でもある。多度山をはじめとした緑と木曾三川が醸し出す自然資源も有しており、まちとして様々な側面をもつ桑名市は、実証フィールドとして高いポテンシャルをもつ。

すなわち、仮説検証等のための実証フィールドを求めるスタートアップにとっても、最良の地域と言える。

# 戦略策定の背景まとめ

戦略策定の背景（１） 国や各地域におけるスタートアップ施策の動向

政府や各地方公共団体において、スタートアップの創出や支援などに関する動きがある中、革新的なアイデア・技術により、今まで解決できなかった課題にアプローチを試みることで、新たな価値創造を実現するスタートアップの出現が期待されている。

戦略策定の背景（２） 桑名市の課題とスタートアップへの期待

桑名市の課題解決のために、革新的なアイデア・技術を有するスタートアップへの期待が高まっている。

戦略策定の背景（３） 桑名市におけるスタートアップとの共創可能性

スタートアップに特化した仕組みを設けることで、桑名市の強みをさらに発展させ、新たな価値創造をスタートアップとの共創により実現することが、桑名市の未来を形づくる有効な手段となる。

これらの背景を踏まえ、目指すべき方向性等を明確にし、スタートアップとの共創を戦略的に推進していくことを目的として、本戦略を策定する。

## 新たな価値創造による 桑名の Well-Being の実現

桑名の更なる Well-being の向上を目指して

桑名市役所、市内事業者、地域団体等が一体となって  
革新的なアイデア・技術を持つスタートアップとともに  
新たな価値の創出に取り組みます。



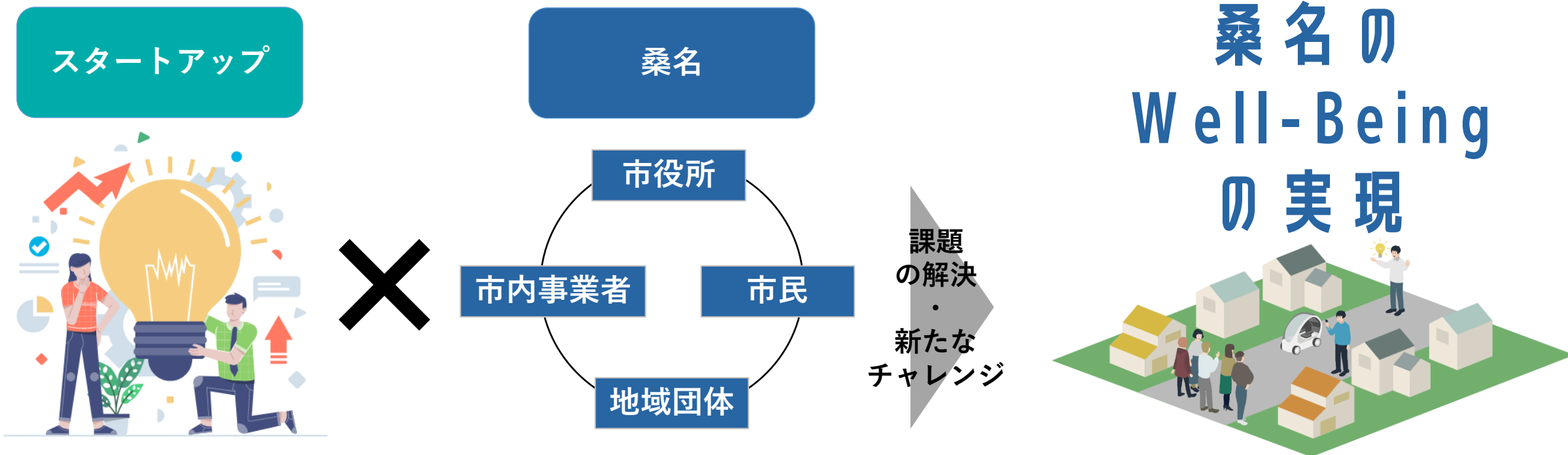
## 桑名のまちづくりに新たな風を巻き起こす 「くわなスタートアップ・オープンフィールド」

桑名をフィールドとした課題の解決や新たなチャレンジを通じて  
スタートアップとの共創を生み出し続けることを理念とした  
「くわなスタートアップ・オープンフィールド」の構築を目指します。



# 概念図

新たな価値創造による桑名のWell-Beingの実現に向けて、桑名とスタートアップとのマッチングを実施。桑名市内のアセット・リソース等と、スタートアップが持つ革新的なアイデア・技術をかけ合わせながら、桑名とスタートアップが一緒になって、課題の解決や新たなチャレンジに取り組む。



## ◆求めるスタートアップ像

革新的なアイデアや技術を用いて、新たな価値創造に挑戦している企業及びその創業者、並びにその候補となりうる者



# それぞれが持つ価値の提供

スタートアップには、事業の成長に向けて活用できる課題や実証フィールドを提供。

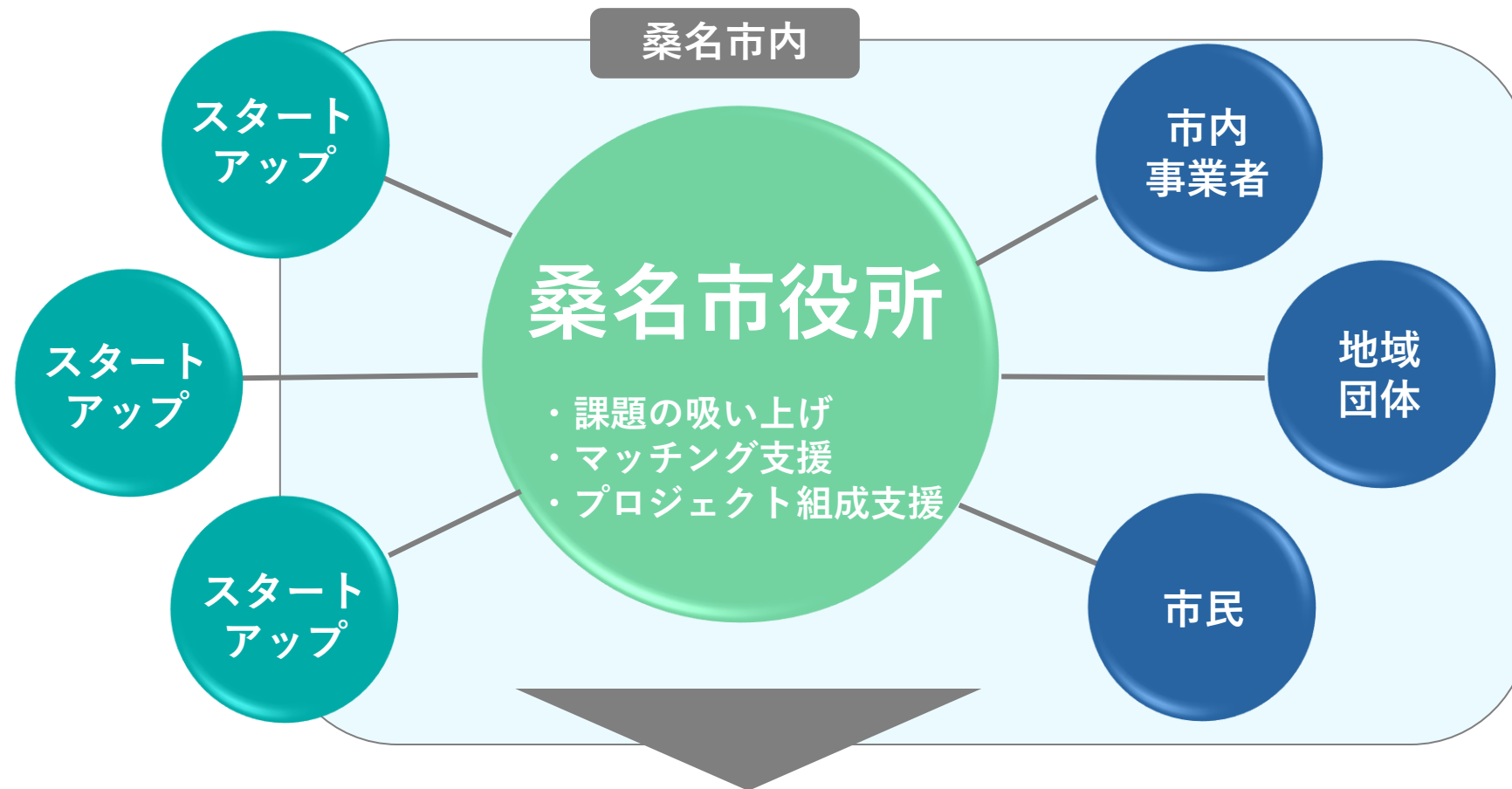
桑名には、課題解決や新たなチャレンジのための革新的なアイデア・技術を提供。

## 「くわなスタートアップ・オープンフィールド」



# 想定スキーム

桑名市役所がハブとなり、課題や市内の利用可能なアセット・リソースに対してスタートアップがアクセスできるように、調整やヒアリング等を実施する。



課題解決・新たなチャレンジに向けた共創プロジェクトの創出

# 将来的な期待

中長期的な視線として、桑名をフィールドに様々なスタートアップが活躍することで、地域が刺激を受け、新たな取組にチャレンジする機運が高まる、また次世代を担う若者を中心に、スタートアップでの活躍という選択肢が身近になるといった、桑名全体のアントレプレナーシップの醸成にも寄与することを期待。



# くわなスタートアップ・オープンフィールドの構築と運用

1年目

2年目

3年目

4年目～6年目

戦略・方針策定期間

モデル事例創出フェーズ

本格始動フェーズ

テーマ

調査（可視化）/土台づくり  
ビジョン策定

テーマ

地域の巻き込み  
/ 仕組みづくり（テスト運用）

テーマ

取組の本格稼働

テーマ

実行/検証のサイクル

施策

- ✓ 機運醸成イベントの開催
- ✓ 地域の情報（課題等）の調査/整理
- ✓ テーマ検討ワークショップの開催
- ✓ 情報発信

施策

- ✓ 機運醸成イベントの開催
- ✓ 実証プログラム  
（トライアル）
- ✓ 研修プログラム
- ✓ 情報発信

施策

- ✓ 機運醸成イベントの開催
- ✓ 実証プログラム
- ✓ プラットフォームトライアル
- ✓ 研修プログラム
- ✓ 情報発信



くわなの

Well-Being を

目指して。